

## グローバル経営リスク対応

### 「常態化する変化」に動じないグローバル経営リスク管理

企業を取り巻く環境変化が複雑化し、不確実性を増していく中、企業にはそれに伴うリスクや新たな事業機会への対応力を維持し、強化していくことが求められています。

ブリヂストンでは重要度の高い全社的なリスクを特定、評価、軽減・低減、コントロールする能力を強化するため、グローバルおよび各地域のリスク管理プログラムの強化に取り組んでいます。各地域事業のCEO、CROを含むトップマネジメントで構成さ

れるグローバル経営リスクコミッティを設置しました。重大なリスクを特定・評価し、適切な対応策を策定した上で、実行性を検証しています。これに基づき、リスク演習を毎年実施し、リスクへの対応と事業戦略の整合性を図っています。

現在は下記3つの重点管理アイテムについて、関連する組織のトップや専門知識を持つメンバーから成るグローバルチームを構成して、対応を進めています。

#### 地政学リスク

当社グループの従業員やお取引先様に影響を与え、事業運営に混乱を引き起こす可能性のある世界的緊張、政治・経済情勢、法規制動向等を継続的にモニタリングし、リスク発生時のビジネス影響の分析と、その最小化に向けた対策の検討、取り組みを進めています。

#### TRWP (Tire & Road Wear Particles)

業界のリーダーとして、タイヤ業界やパートナーとも協働しながら、取り組みを強化しています。下記のステートメント、及び、ステークホルダーエンゲージメントのページをご覧ください。

#### サイバー攻撃への対応

2022年第1四半期に当社グループの米国子会社においてサイバー攻撃を受け、各地域においても緊急対策を実施しました。対応力の継続的な強化に向けて、グローバルでサイバーセキュリティ対応チームを立ち上げ、抜本的な対策を進めています。

今後も、重点アイテムごとにプロジェクトチームを設置し、グローバル経営チームメンバーの下、リスクの洗い出しと対策を推進し、変化に動じないグローバル経営リスク管理を強化していきます。

### TRWP 企業ステートメント

タイヤ・路面摩耗粉じん (TRWP: Tire & Road Wear Particles) は、タイヤが安全で快適な移動を支えるために不可欠な、タイヤと路面の間の摩擦によって発生します。TRWP は、運転挙動や、天候、路面状況、車両およびタイヤの特性など、多様な要因が絡む複雑な問題である点も踏まえて、当社として取り組むべき課題であることを認識し、果たすべき役割があると考えています。

当社は、持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD) 傘下のタイヤ産業プロジェクト (TIP) を通じてタイヤ業界と積極的に関わり、TRWP の物理的および化学的的特性と影響に関する科学的知識の構築に取り組むとともに、影響低減に向けた検討などを進めています。また当社は、国際標準化機構 (ISO) や国際連合欧州経済委員会 (UNECE) との議論に参画し、グローバルで整合の取れた評価試験法の策定に協力しています。この試験法によって、すべての業界関係者にとって共通の基準を定めることが可能となり、摩耗粉じんの発生量を減らすことにつながっていくと考えています。

当社は、サステナブルな技術や材料開発への投資を継続的に進め、燃費や電費性能、グリップ性能や静粛性、耐摩耗性能などの、ややもすると背反する性能を両立しながら向上させていきます。さらに、ソリューションの提供を通じてお客様によるタイヤの摩耗状況の確認や、ルートの最適化を可能にし、適切な運転を促進することで、タイヤに起因する摩耗粉じんの削減に貢献していきます。

当社は、ブリヂストン E8 コミットメントを経営の軸として、この課題の研究と解決策の追求に向けて、業界やパートナーとの協働を続けていきます。同時に、タイヤ摩耗粉じんの発生と潜在的な環境への影響のさらなる削減に向けて、タイヤ設計や材料開発、ソリューションの革新の追求に尽力していきます。

※ 2023年6月時点